資料４

第２回　大牟田市地域公共交通活性化協議会

報告事項（３）
有明エリアMaaS実証実験について

<目次>

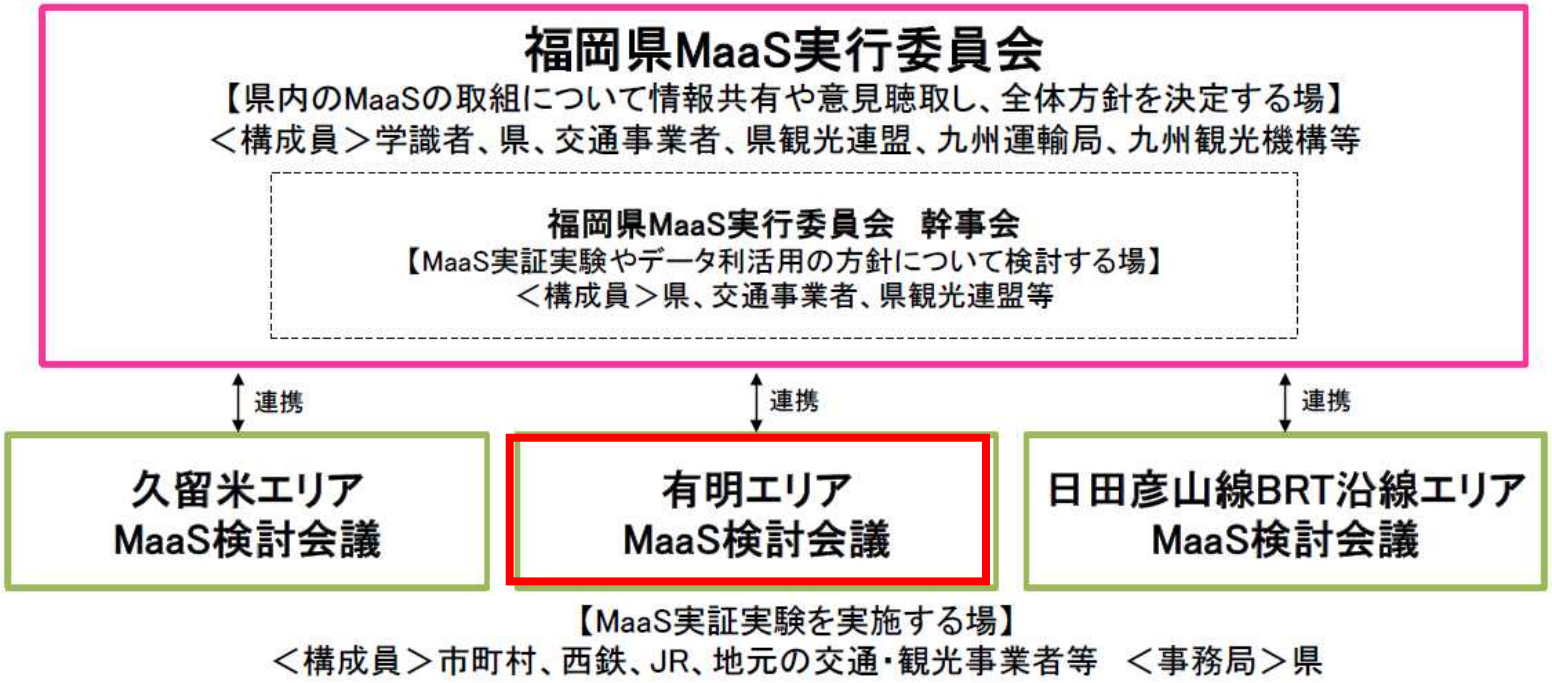
１．MaaS実証実験の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
２．現在の協議状況ほか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

令和６年１月２３日
大牟田市　国県道路・地域交通対策課

1．MaaS実証実験の概要

〇福岡県では、昨年５月に学識経験者や交通事業者、観光事業者、行政等で構成される福岡県MaaS実行委員会を設置され、有明エリアを含む各候補地において、実証実験の準備が進められている。

〇大牟田市は、交通事業者や行政（大牟田市、柳川市、みやま市）、福岡県（事務局）等で構成する有明エリアの検討会議に参画し、実証実験を実施する。



1．MaaS実証実験の概要

○目的

交通DXであるMaaSを活用し、

・地域公共交通の利便性向上、利用促進

・域外からの来訪者増に向けた地域資源を活用した周遊促進に３市連携で取り組むことで相乗効果を図り、有明地域の交通・経済の活性化を目指す。

○取組み方針

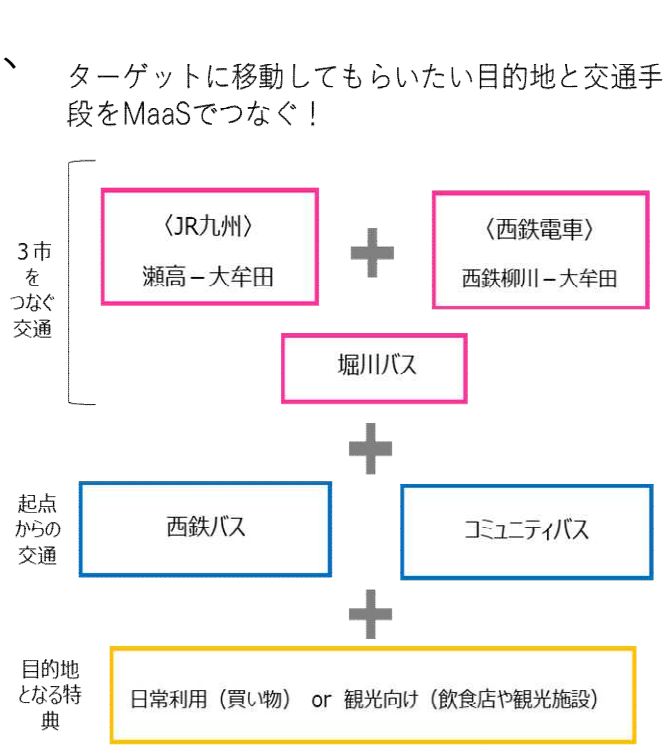
MaaSアプリ（myroute）を活用し、

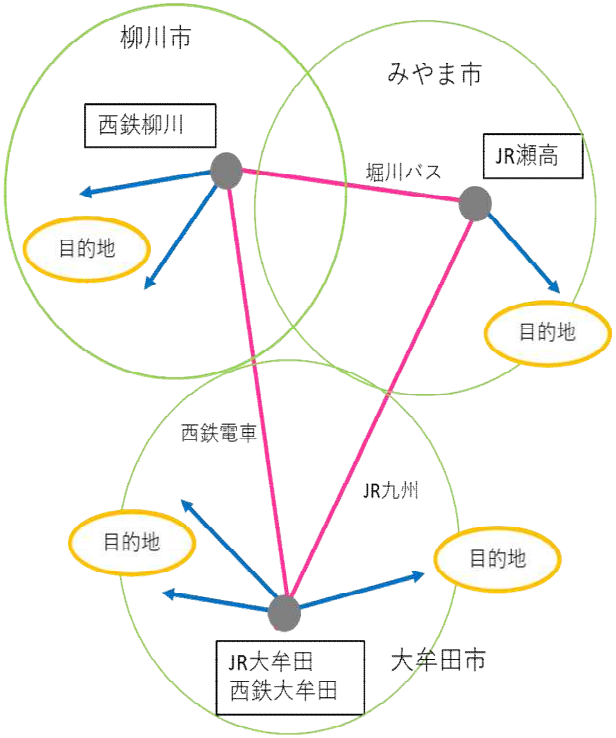
①複数の交通手段を組み合わせたルート検索・予約・決済の充実

②観光や商業とタイアップした、魅力的な企画乗車券の造成・販売

③地域独自の観光・イベント情報の掲載

＜チケット全体のイメージ＞





２．現在の協議状況ほか

〇交通事業者（JR九州、西鉄電車、堀川バス、西鉄バス）や行政（大牟田市・柳川市・みやま市の交通、観光部局）、事務局（福岡県）等で構成する有明エリアMaaS検討会議をにおいて企画乗車券の作成に向けた協議を実施。
〇有明エリアMaaS実証実験の全体事業費は、5,877千円。県が3,989千円を負担し、1,888千円を３市（大牟田市、柳川市、みやま市）で負担する。大牟田市の負担金は638千円。
〇３市の主要駅を結ぶ片道乗車券（JR、西鉄電車、堀川バス）、各市の指定エリア内のバスフリー乗車券（西鉄バス、堀川バス、コミュニティバス）、有明地域の魅力が詰まった特典がセットになったデジタル乗車券（最大２日間利用可）を300枚限定で販売する。
〇複数の交通事業者で複数の自治体を周遊する取組は、今回のMaaS実証実験では初。
〇乗車券販売の効果を検証するため、チケット購入直後及びチケット利用後にアプリ上でアンケートを行なうほか、実際に３市を周遊してもらう体験モニター（30名程度）を募集する。

〇今後のスケジュール（案）

令和６年１月２４日		第５回　有明エリアMaaS検討会議
	２６日	都市環境経済委員会への説明
２月	１日	福岡県によるプレスリリース予定（各交通事業者からも実施予定） 広報おおむた（２月１日号）
	上旬	実証実験開始（チケット販売開始）
３月	下旬	第６回　有明エリアMaaS検討会議